

2020年2月27日
北海道電力㈱

泊発電所2号炉における高経年化技術評価について

1. 評価の概要

泊発電所2号炉の30年目の高経年化技術評価（以下、PLM）の申請期限が、2020年4月11日であることから、申請に向けた準備を進めている。

泊発電所2号炉のPLMの概要を以下に示す。なお、先に認可を頂いている泊1号炉のPLMと同様な評価を行っている。

(1) 前提条件

新規制基準への適合性に係る審査中であることを踏まえ、「実用発電用原子炉施設における高経年化対策実施ガイド（平成29年9月20日改正）」に従い、原子炉の冷温停止状態が維持されることを前提としたもののみとしている。

(2) 評価に用いる地震動

新規制基準への適合性に係る審査中であることを踏まえ、「実用発電用原子炉施設における高経年化対策実施ガイド（平成29年9月20日改正）」に従い、耐震バックチェック時の基準地震動 S_5 及び建設時の基準地震動 S_1 を用いている。

(3) 評価の方法

今後、原子炉の運転を断続的に行うことを前提とした評価を行うことを踏まえ、原子炉の冷温停止状態が維持されることを前提とした40年間の評価条件より運転を断続的に行うことを前提とした60年間の評価条件が同等もしくは保守的な場合には、その評価条件を用いることを基本とし、原子炉の冷温停止状態が維持されることを前提とした40年間の評価条件の方が厳しい場合には、冷温停止状態が維持されることを前提とした40年間の評価条件を用いている。

2. 申請予定について

PLMの申請期限が2020年4月11日であることから、3月中に申請を行うことを予定している。

以上